



【お知らせ】

令和4年10月21日  
統合幕僚監部

日米韓参謀総長級会議について

統合幕僚長山崎幸二陸将は、令和4年10月21日（金）（現地時間10月20日（木））、ペンタゴン（ワシントンD. C.）において、米統合参謀本部議長ミリー陸軍大将及び韓国合同参謀本部議長キム陸軍大将とともに日米韓参謀総長級会議に参加しました。

本会議には、アクイリーノ米インド太平洋軍司令官、ラメラ国連軍司令官／米韓連合軍司令官／在韓米軍司令官も同席しました。

本会議において3者は、北朝鮮による地域を不安定化させる最近のミサイル発射や核開発計画を含む地域の安全保障上の課題及び朝鮮半島非核化のための取組みの継続について議論しました。また、ミリー大将は、我が国及び韓国防衛に対する米国の揺るぎないコミットメントについて再確認しました。

3者は、朝鮮半島と地域の安全保障を強化していくためには、2国間、3か国間及び多国間の有効な安全保障協力及び調整が不可欠であることを強調しました。

日米同盟及び米韓同盟、そして日米韓3か国の安全保障協力は、地域の平和と安定を維持し、「自由で開かれたインド太平洋」を実現するために必要不可欠です。

